

日時  
集合場所

2024年11月 8日(金) 9時45分  
京成線 京成臼井駅東口下車 徒歩5分 御伊勢公園 役員が旗を持ち誘導します

(コース) 御伊勢公園(トイレ有り) → 光勝寺 → 成田道の道標 → 印旛沼 → 星神社前 → 臼井城跡公園(昼食休憩) → 雷電の碑 → 雷電の墓 → 京成臼井駅で流れ解散(13時30分ごろ)

光勝寺

臼井常康の創建ともいわれる。  
本堂の閻魔大王像は、印旛沼に漂着した頭部を用いて作ったものと伝えられる。印旛沼を望む高台の中腹にあるこの寺は臼井八景「光勝晚鐘」の地。

「光勝晚鐘」

けふもくれぬ あわれ幾夜をふる寺の  
鐘やむかしの 音に響くらん

成田道の道標

江戸商人達によって建てられた道標で正面には「西 江戸」、左側面に「東 成田道」、右側面に「南 飯重生ヶ谷道」、裏には「文化丙寅(1806)中秋吉日」と刻まれている。

臼井城跡公園

平安時代末期から鎌倉時代初め頃に千葉一族の臼井常康が築城。天正19年(1591)酒井家次3万石の居城となるが、文禄2年(1593)城内からの出火により、焼失。慶長9年(1604)500年におよぶ下総統治の一拠点であった臼井城は廃城。

雷電の墓

明和4年(1767)信濃国で生まれ、天明8年(1788)に松江藩主松平郷公のお抱え力士となり、四股名を「雷電」。初土俵から引退まで成績254勝10敗、優勝回数25回勝率は96.2%。享和元年(1801)臼井で興業があり、臼井上宿茶屋の八重と出会う。文政8年(1825)死去



下見 : 2024.10.01. (火) 吉田 美濃輪 田中 3名  
誘導(先頭) 1班(老大19~市大11期)(先:吉田)、(後:美濃輪)(中間:井上、加藤、原)  
2班(市大12~市大20期)(先:四宮)、(後:田中)(中間:浅野、上杉、熊谷)